



### ロータリー親睦活動月間

JOIN LEADERS  
EXCHANGE IDEAS  
TAKE ACTION

### CONTENTS

- |                       |                              |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. ガバナーメッセージ …………… 1  | 6. 米山梅吉記念館便り …………… 12        |
| 2. ロータリーモーメント …………… 3 | 7. 地区通信 …………… 13             |
| 3. ロータリーコラム …………… 5   | 8. 2017年3月会員数の増減および出席率… 14   |
| 4. ロータリーの歴史 …………… 8   | 9. 2016-17年度3月会員の動き …………… 裏面 |
| 5. ロータリー情報 …………… 11   |                              |



人類に奉仕する  
ロータリー

2016-17年度  
国際ロータリー会長  
ジョン F. ジャーム



2016-17年度 第2650地区

## 刀根 莊兵衛 ガバナー メッセージ



人類に  
奉仕する  
ロータリー



## 2650地区 ロータリークラブ 会長・幹事の皆様へ

謹啓

日差しが少しずつ強くなり、日中は汗ばむ季節となりました。クラブ会長、幹事、会員の皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。あっという間に1年が経ち、私たちの役割もあと1ヶ月で終わります。思い返しますと、会長の皆様方と私の出会いは、1年3ヶ月前のPETSに始まりました。

「なんで急に一泊二日のPETSなのか」「一体どんなガバナーだろうか、難しいことを言うのだろうか」「次年度のRI会長テーマ、地区スローガンは何だろうか」・・・

きっとこんな思いが皆様の脳裏をかすめたことと思います。

昨年の今頃は、皆様方も私も「よし、がんばろう。いい年度にしよう」と新しい年度を迎える準備をしたものです。長いと思っていた1年は、思いのほか早く過ぎました。今年度、会長、幹事の皆様とご縁を戴き、親しくさせて戴いたことは、私の最大の喜びであります。本当にありがとうございます。

さて、6月はロータリー親睦月間（Rotary Fellowships Month）です。ロータリー章典によりますと、クラブと地区は、特にロータリー親睦活動月間である6月中に、親睦活動を推進するよう奨励されています。ロータリーにおける会員同士の友情、友愛の育むための親睦活動を推進することが奨励されています。

ところで、日本では昔からよく、ロータリーの原点は「親睦と奉仕」だと言われています。実際、ロータリーの二本の柱として、親睦と奉仕を挙げるロータリアンは多くいますし、また、新年度のロータリークラブの会長テーマとしても「親睦と奉仕」を掲げられるクラブをよく見かけます。もちろん、「親睦と奉仕」

がロータリーライフを支える二本の大きい柱であることは、疑いのない事実であり、親睦が失われればクラブは崩壊し、もはや奉仕活動どころでなくなってしまう。

ポール・ハリスがその著書（My Road To Rotary）の中で、自分が育ったウォーリングフォードの村人の勤勉、誠実、質素な気質を懐かしみ、ロータリーを作ろうと思った経緯を振り返っています。ロータリーコラム3でも少し紹介致しましたが、再度引用してみます。

「日曜、祭日には寂しくて身を持って余しました。日曜の朝には下町の教会に行けば気もまぎれましたが、午後はずっと一人ぼっちになりました。そして故郷ニューイングランドの谷間の緑や優しい旧友の声を思い出していました。私以外にも農村や小さな村から出てきて、この大都会に落ち着こうという若者が沢山いるに違いありません。私も実際にそんな人を二、三知っています。どうしてそのような人たちを一緒に集めてみないのでしょうか。もし彼等が私と同じ様に友達を求めているなら、そこから何かが生まれるはずですよ」

「ある晩のことでした。私は同業の知人に誘われて、彼の郊外にある家を探ねました。夕食後、二人で散歩に出かけたのですが、店の前を通るたびに、友人は店の主人と名前を呼び合って挨拶をしていました。私は、はたと、ニューイングランドのウォーリングフォードのことを思い出しました。その時、この大都会シカゴで、各種の職業から政治や宗教の立場を離れて、お互いの意見を大らかに認め合えるような人を、一人ずつ選んで親睦団体を作ったら、という構想が浮かびました。もし、こんな団体ができれば、お互いに助け合えるはずですよ」

また、これも有名なお話ですが、ポール・ハリスが初めて日本を訪問した時、日本のあるロータリアンが、ポール・ハリスにロータリークラブ設立の動機を尋ねました。ポール・ハリスは「ただ寂しかったから」と答えたと伝えられております。

つまりロータリー創設の原点は本当に心から何でも話し合える友人を作ることであり、言い換えれば、会員同士の友情にあったのだと思います。

実際、1906年のシカゴロータリークラブの定款を調べますと、次のように書かれています。

## 第2条 目的

目的は以下の通りとする。

1. 会員の事業上の利益の促進
2. 通常、社交クラブに付随する良き親睦とその他の特に必要と思われる事項の推進

当時シカゴクラブの目的に、会員の事業上の利益の促進（互恵取引）と親睦があったのは事実です。しかし、当初、互恵取引と親睦を目的として出発したロータリーも、その後の様々な議論の末に、奉仕理念を学びそれを実践する組織へと大きく生まれ変わっていきました。その結果、ロータリーの定款の目的から「親睦」は削除され、現在は、僅かにクラブ管理運営委員会の小委員会の名称として親睦活動委員会にその痕跡を残すのみとなっています。

ロータリーで言う親睦は、英語ではフェローシップ（Fellowship）となっています。ただ、英語のフェローシップ（Fellowship）の意味は、日本人がイメージする親睦のイメージとは少し異なっているようです。日本語で『親睦』と言えば、いわゆる宴会やゴルフや旅行など親睦活動をさすことが多いわけですが、辞書によれば、フェローシップとは、『何かを一緒に行う、または利害を分け合う人々の行いで生まれる友情の感情、仲間意識、連帯感』と言う意味になります。つまり、ロータリーの親睦とは、ロータリー運動を志す仲間の連帯、友情ということになります。

そしてロータリーは、この仲間同士の友情、連帯としての親睦（フェローシップ）が根底にあり、前提条件になっているのです。さらに、その親睦を深める手段としてロータリアン同士の様々な親睦活動があるの

です。このようなロータリーの親睦活動を通じて楽しみを分かち合い、地域を越えた親睦を深めることにより、一層ロータリーライフを充実したものにすることができるとおもいます。

国際ロータリーには、このロータリアン同士の親睦を深めるための「ロータリー親睦活動グループ」があります。一言で言えば、世界的な同好会活動といったところだと思います。ロータリー親睦活動グループは、共通の趣味、関心事項、スポーツ、職業をもつロータリー会員の集まりです。自分と同じ職業をもつ人々との交流を通じて、職業能力を向上させます。世界中で新しい友人をつくり、奉仕の機会を探求することで、ロータリーでの経験をさらに充実したものとします。同じ興味や情熱をもつ世界中の仲間たちと交流でき、ロータリアンだけではなく、ロータリアンの家族、ロータリープログラムの参加者やロータリー学友なども参加することができます。

現在、60を超える親睦グループが、国際ロータリーに登録されています。また、親睦活動グループは、医者や弁護士などの職業を中心にしたグループからクリケット、ジャズといった趣味や関心まで、実に多岐にわたります。また、親睦だけを目的としたグループもあれば、奉仕プロジェクトを実施しているグループもあります。皆様も是非、積極的に世界のロータリアンと親睦活動を通じて、友人を増やしてみたいはいかがでしょうか。

私たちの任期はあと1カ月です。年度の総まとめ、次年度への引継ぎ、新しい年度を迎えるに当たって次年度役員に対するお手伝いなど、そして変わりなく例会も開催しなければなりません。慌しく年度末を迎えられることと思いますが、最後までクラブ運営に力を注ぎ、悔いのない年度を全うして戴きますようお願い致します。

また、皆様とどこかでお目にかかれることを楽しみにしております。

末筆ながら、会長、幹事様はじめクラブ会員の皆様のご健勝ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

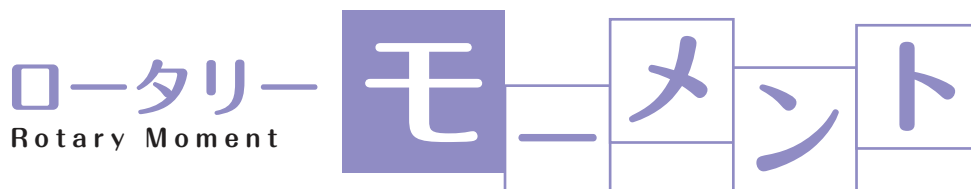
謹言

2016-17年度ガバナー

刃根 荘兵衛

雨の日には雨の日の  
悲しみの日には悲しみをとおさないと見えてこない  
喜びに であわせてもらおう  
そして  
喜びの種をまこう  
喜びの花を咲かせよう  
ご縁のあるところ  
いっぱい

東井義雄（教育者）



## 心に残るロータリーの奉仕事業

2016-17年度 地区米山奨学委員長

富川 悟 (奈良大宮RC)

私は奈良大宮ロータリークラブに入会して32年になります。その間、我クラブでは数多くの奉仕事業をおこなってきました。特に心に残る奉仕活動といえば2つが思い当たります。私がクラブ幹事の時に実施した裁判員制度を考える「模擬裁判」です。裁判員法が成立し、5年以内に裁判員制度が実施される予定になった時期、その時のクラブ会長の職業が弁護士でもあったので、クラブで大変話題になり、裁判員制度を踏まえた「模擬裁判」をやろうということになりました。早速実行委員会を立ち上げ、クラブ四大奉仕合同の奉仕事業とし、刑事裁判の流れを理解し、裁判員制度について裁判劇を演じながら実際の時間の流れに即して、市民の皆さんにその意義を理解していただけるように、わかりやすく解説することにしました。計画は比較的早く決まりましたが、実行までは言葉では言いつくせない会員の努力と苦勞の結果、計画から半年後に模擬裁判劇を実現することが出来ました。当日は法学を目指す高校生から一般市民の皆さんに参加していただき、300名収容の会場はほぼ満員になりました。各報道機関にも取り上げられ大成功裏に終了することが出来ました。

もう一つの奉仕事業は、地元の中学校に於いて「労働に学ぶ」というプログラムを実施しています。これはクラブ会員の所属企業より15講座を開講し、それぞれ会員が講師を務め、生徒達が興味を持ち、希望した講座の講義や実技を体験して将来のために職業や仕事に対する理解を深めてもらおうと云うものです。私も講師を10年間務めさせてもらいました。その中で感じた事は、受講する生徒は毎年入れ替わりますが、年々進歩し、レベルアップしていくということです。講座には生徒だけでなく父兄の皆さんもたくさん参加され大変盛り上がった講義になったことを覚えています。

以上のように、我々ロータリークラブの奉仕活動は、市民の中に身を置いた存在であって、市民と共にある奉仕活動が相応しいものと思っています。

## ロータリーの見えない魅力

2016-17年度 財団資金管理委員長

小坂 文夫 (京都東山RC)

私がサラリーマン時代に、ある取引先の社長さんが唯一のロータリー会員でした。会社に訪問させて頂くと「今日はロータリーの日ですから社長はお留守ですよ」と秘書の方に言われ、その日はしぶしぶ与えられた仕事だけをこなして再度訪問する事にしていました。「社長さんが毎週定期的に参加するロータリークラブ?」「会社の経営より大切な会合?」当初はこんな疑問を抱いていました。いつもおしゃれで英国紳士。奥様も美人で明るくソロブチのメンバーさん。お二人でよくメンバー仲間と食事会等に出かけたりして楽しそうな日々を過ごしておられた記憶が残っています。何も知らない私のロータリーとの出会いです。

ある日、高校時代の同級生から「君もロータリーに入らないか？」とお誘いを受けました。

「ロータリー入会は若いうちがいいよ」と上手く諭されて、いつかは入会してみたかった私には渡りに船のお誘いでした。彼には大変感謝しています。

初代で会計事務所を経営している税理士にとって事業拡張に奔走している最中でしたから、入会当初の毎週の例会は相当きついものがありました。しかし慣れてくると、案外うまくスケジュールが組めるように成ってきました。特に職員の採用や教育に力を入れる必要性、コミュニケーションの大切さ、マニュアルを作成しないと仕事が進まない等、緊張感ある事務所経営に役立ってきたと思います。

ロータリーは異業種経営者の集まりですから、異業種を扱っている会計事務所には勉強になることがあまり無いと思っていましたが、大きな間違いでした。

ロータリーには同業者や取引先では得られない情報が有ります。例会でのスピーチ、会員同志との交流、先輩の人柄やリーダーシップ等に触れることが多く、参考になることが山ほどあります。これらは毎週一回会える例会だから親しくなり、打ち解けられるからこそ得られる情報であり、体験ではなかろうかと思えます。

ロータリーの奉仕理念や精神から得られた情報は、わが事務所の経営理念や経営指針の作成に活用していますし、お客様の経営指導にもかなり参考になっています。

## 心に残るロータリーの体験

2016-17年度 ガバナー補佐  
櫛田 匠（京丹後RC）

ロータリーモーメントと言いますと、その内容は、何か特別なもので、しかも良いものでなければならないと思いついてしまっていて、頭を抱えていました。それは、ロータリアンの末席に加えていただきまして長い時がたちましたが、今日までそのような体験をしたということが頭に思い浮かばなかったからです。

弱り切って、改めて依頼文を読みますと「ロータリーモーメント」（心に残るロータリーの体験）とあり、この日本語に気付きました。そしてロータリーでの小さな感動の体験はいくつもある事に思い至ることができました。ただ私の理解が正しいかどうかは不明のままですが、その様に書き進めさせていただきます。

最初の感動は、異業種のリーダーの方々との触れ合いです。私は、井の中の蛙大海を知らずのとおりでありましたが、ロータリーに加えていただき、異業種の方々との親睦・交流・行動と奉仕をとおして、多くの考え方・感じ方・行動のあり方等々に触れることができました。しかもそれらが常に融和的に進められる事に感動しました。自らの仕事への多くのヒントを頂きました。

今、多様性が問われ、その体現が強く求められています。ロータリアンとしての活動は、正にこの「多様性の受容」を実感させてくれるものでありました。この事を誇りとしつつ、維持・継続・発展へと取り組まなければなりません。時代の変化に恐れを抱きつつ、変わる事へチャレンジする勇気を持つことが必要であることも教えられました。依然として、末席を汚す者であることには変わりませんが、ロータリーに繋がってみたいと強く思っています。

知らないと言う事の無謀と非礼を痛感した1年でした。依然として知らない事が多く、益々多くのロータリアンにご迷惑をお掛けしておりますが、前進するどころか、後退もできず、ただ立ち尽くしております。

この様な時に、「朝に道をきかば、夕べに死すとも可なり」などという言葉が頭に浮かび、これが励ましになり、もう少し前へと背中を押してくれました。学ぶ事に遅きは無い。思い立った時にそれに従えば良いと。

更に力をいただいた言葉があります。中澤ガバナーからでした。「勉強しようとか力んで悩むことはない。知恵者がロータリーには多く居るから、分からない時はその方たちに聞けば良い。」でした。

ロータリアンとして人の繋がりに意をくだけと承りました。さすがだと感服いたしました。以後の銘とさせていただきます。ありがとうございます。

# ロータリーコラム

第12回

2016-17年度ガバナー  
刀根 莊兵衛



## ロータリーはどこへ? - 21世紀のロータリーは何をもって人々の心を捉えるのか - ロータリーの目的と自分の人生の目的のベクトルを合わせる生き方

初のコラムで、なぜあなたはロータリーに入会したのかと言う質問について私なりの答えを書かせて戴きました。一言で言えば、何となく仕方なく入会したロータリーかもしれませんが、折角縁あってロータリークラブに入ったのですから、少しでもロータリー活動に積極的に参加し、ロータリーモメントを体験することによって、自分の人生を豊かにしていくことではないでしょうかと言う結論でした。

最終回の今回は、もう一步進めて、それでは自分の人生にとってロータリーは一体何だろうか。何故ロータリアンであり続けなければならないのか。毎日仕事で忙しいのに、ロータリーでいろんな役まで貰って、高い会費まで払い、毎週例会に出掛けるのは何故なのか。ロータリーに入会しても、別に税金が安くなる訳でもないのに、それなのにロータリーに留まる理由は一体何なのかを考えてみたいと思います。

結論から先に申し上げますと、私たちがロータリーに魅力を感じ、ロータリアンであり続ける理由は、ロータリーの理念というかロータリー運動の目的が、実は私たちの人生の目的そのものと深く関係するからではないだろうかと言うのが、私が得た結論でした。

ところで、私たちの人生の目的とはそもそも一体何でしょうか。京セラの稲盛名誉会長は次のように述べています。

『会社を成功させて有名になったり、お金持ちになったり、そんなことのために人生があるのではない。人生を生きる意味とは、まさに自分の魂を磨くことにある。死ぬときに、生まれた時に持ってきた魂よりも少しでも美しい姿にして、新しい魂の旅立ちを迎えるためにある。此の事が人生を生きてきた価値であり、目的ではないだろうかと思いついたのです。人生の目的とは、心を高めることです。心を純化する、心を浄化する、人間性を高める、人格を高めることなのです。』そして、そのためには、世のため人のために尽くすこと、利他の心を持つことが心を高めることであり、人生の目的なのだと言われています。

『人生2度なし』これは森信三先生の言葉です。

森先生は、「人はこの世に生れ落ちた瞬間、全員が天から封書をもって生まれてくる。その封書を開いたら、あなたはこういう生き方をしなさい、と書いてある。しかし、せっかく天からもらった封書を一回も開かないまま死んでいく人が多い」と仰っておられます。自分の人生の目的を気付くということがまず大切であるということだと思います。

そして、それゆえ、その『たった一度の人生』を、精の限り、魂の限り、一所懸命努力を重ね、そしてその成果を周囲の人たちや、いや地球人類のために使っていこうという利他の心が大切になるのではないかと思います。一度きりの人生をどう生きるのか、大げさに言えば、この命題に対する自分なりの

ヒントを与えてくれるのがロータリー運動の目的ではないかと考えております。

仏教では、そのような悟りを開くために、六波羅蜜の6つの修行が必要とされます。そして、その最初に挙げられるのが「布施」です。布施とは施しをすることであり、世のため人のために尽くすということです。お坊さんに寄付をすることだけが布施ではありません。人を助け、人のために尽くしてあげることが布施です。つまり、ロータリーの奉仕理念に通じる言葉ではないかと思えます。

六波羅蜜には、あと「持戒」「精進」「忍辱」「禪讓」「智慧」がありますが、紙面の関係上、省略させて戴きます。

勿論、ロータリーは宗教でもありませんし、お坊さんのような厳しい修行を行うところでもありません。ただ、そのような厳しい悟りの境地を極めるための修行の代わりに、ほんの少しでも心を高めることに近づけるのが、奉仕理念の研鑽と実践であろうと思うのです。

たとえ、大変さやかな地道な小さな奉仕活動であったとしても、黙々と人のために世のために汗を流すことは、自分を磨くことなのだと思います。

更にもっと大きな感動を得るような、大規模な人道的な奉仕活動であれば、無償の奉仕であれば尚更のことだと思います。

人生の価値観はさまざまですが、他人から評価されて初めて己の価値に気づくこともあります。

自分の生き様を確かめるために他人に尽くすのも、これまた人生かもしれません。

立派な企業人や専門職の人たちが先頭に立って行う事に大きな意味があると考えています。

自らの職業や事業所においても、地域社会においても、さらには世界の困難な地域においても奉仕活動をすることによって、自らの魂を磨くと共に、ロータリアン自身の周りの人たち（社員や取引先や業界など）にも大きな影響を与えることができます。これがまさにロータリー運動の真髄ではないでしょうか。

このようなことを述べると、人類が皆お釈迦様やキリストのような無欲な聖人ばかりだったら、人類の発展はないのではないかと。やはり適度な欲望（財欲、色欲、食欲、名誉欲、睡眠欲を五欲）と言うものが人類の発展や進化に欠かせないものだと反論される方もおられるかもしれません。

確かに一時的にはそういう面もあるのかもしれませんが、私は長い目で見れば、そのような欲望、つまり自分だけ良ければよいというエゴ（本能心からの強い思い）が出てくると、それを達成するには、必ず他人を踏み台にしたり周囲を犠牲にしながら成功していくものであり、そうなるで一時的には成功しても、必ずその反作用のためいつかは凋落していくと思います。

一方で、もっと高い次元のところ、言い換えれば、キリスト教的な愛、仏教社会における慈愛の心をベースにした場合には、その思いが強ければ強いほど、結局持続的な繁栄をするものだと思います。

別に大上段に振りかぶった崇高な理念ではなくとも、人間はより高いレベルの人生観を持つべきだと考えています。人間として正しい事を基準として、物事の判断をすべきであるということであると思えます。それは損得勘定でもなければ、戦略戦術論でもありません。正しい道を歩くということであり、倫理観が欠落しているような会社は永続発展出来ないと思います。

米山梅吉翁が『ロータリーの例会は人生の道場』だと語っていたと言われていますが、その真偽は別として、ロータリー運動に参加し、他の人のために無償の奉仕を積むことは、いつの日か自分自身に帰ってくることなのです。その意味でまさに人生の道場と言っても過言ではないかもしれません。

袁了凡の陰鸞録（いんしつろく）の中にも、『運命を変えるにはどうすれば良いのか』と言う問いに、老師は『善きことを行うこと』だと答えたと書かれています。

つまり、善行を重ねることにより、自分の運命が変わっていくとすれば、これはロータリー運動の結果的な素晴らしい効用かもしれません。

こう考えますと、ロータリー運動に参加し、奉仕理念を実践することは、利他の心を養うことであり、それは人生の目的である『心を高め、魂を磨く』ことに繋がっていき、結果的にそれは自分の人生の運命そのものを変えてしまうということになるのだと思えます。

最後に、マザー・テレサも感銘したと言われる、逆説の10カ条を御紹介し最後のコラムを終えたいと思います。

一年間に亘りこのコラムにお付き合いを戴き本当

に有難うございました。このコラムが皆様にとりまして、少しでもロータリーを考えるきっかけとなったならば、これに勝る喜びはありません。皆様に心より感謝を申し上げ、筆を置きたいと思います。

有難うございました。

(引用文献：稲盛和夫 成功の要諦)

### 逆説の10カ条

- ・人は不合理で、わからず屋で、わがままな存在だ。それでもなお、人を愛しなさい。
- ・何か良いことをすれば、隠された利己的な動機があるはずだと人に責められるだろう。それでもなお、良いことをしなさい。
- ・成功すれば、うその友だちと本物の敵を得ることになる。それでもなお、成功しなさい。
- ・今日の善行は明日になれば忘れられてしまうだろう。それでもなお、良いことをしなさい。
- ・正直で率直なあり方はあなたを無防備にするだろう。それでもなお、正直で率直なあなたでいなさい。
- ・最大の考えをもった最も大きな男女は、最小の心をもった最も小さな男女によって撃ち落とされるかもしれない。それでもなお、大きな考えをもちなさい。
- ・人は弱者をひいきにはするが、勝者の後にしかついていない。それでもなお、弱者のために戦いなさい。
- ・何年もかけて築いたものが一夜にして崩れ去るかもしれない。それでもなお、築きあげなさい。
- ・人が本当に助けを必要としていても、実際に助けの手を差し伸べると攻撃されるかもしれない。それでもなお、人を助けなさい。
- ・世界のために最善を尽くしても、その見返りにひどい仕打ちを受けるかもしれない。それでもなお、世界のために最善を尽くしなさい。

### The Paradoxical Commandments

1. *People are illogical, unreasonable, and self-centered. Love them anyway.*
2. *If you do good, people will accuse you of selfish ulterior motives. Do good anyway.*
3. *If you are successful, you will win false friends*

*and true enemies. Succeed anyway.*

4. *The good you do today will be forgotten tomorrow. Do good anyway.*
5. *Honesty and frankness make you vulnerable. Be honest and frank anyway.*
6. *The biggest men and women with the biggest ideas can be shot down by the smallest men and women with the smallest minds. Think big anyway.*
7. *People favor underdogs but follow only top dogs. Fight for a few underdogs anyway.*
8. *What you spend years building may be destroyed overnight. Build anyway.*
9. *People really need help but may attack you if you do help them. Help people anyway.*
10. *Give the world the best you have and you'll get kicked in the teeth. Give the world the best you have anyway.*

#### 「生涯の旅路」

私は私の一生の旅路において  
 今日というこの道を再び通ることはない  
 二度と通ることはない  
 二度と通らぬ今日というこの道  
 どうしてうかうか通ってなろう  
 笑って通ろう 歌って過ごそう  
 二度と通らぬ今日というこの道  
 嘲笑されてそこで反省するのだよ  
 叱られてそこで賢くなるのだよ  
 叩かれてそこで強くなるのだよ  
 一輪の花でさえ風雨をしのいでこそ  
 美しく咲いて薫るのだ  
 侮辱されても笑って受け流せ  
 蹴倒されても齒をくいしばって忍べ  
 苦しいだろう くやしいだろう  
 しかし君、この道は尊いといわれた人たちが  
 必ず一度は通った道なんだ

(作者不明の詩)

——『ポケット名言集「小さな人生論」』

(藤尾秀昭) より



# ロータリーの歴史

## 第12回 戦後におけるロータリーの発展

### 戦後の水曜会

1945年8月15日に、日本を含む枢軸国側の敗北で第二次世界大戦が終わった。太平洋戦争突入前に、日本にあったロータリー・クラブ(略称 RC)は、「自主的」にRIから離脱し、その多くは再度集まって独自の会合を続けていた。現在の第2650地区においては、京都RCが再組織された水曜会があった。水曜会のメンバーにとっても、苦難の数年間がやっと終わったのだった。

水曜会は戦時中も京都ホテルを例会場としていたが、占領軍の進駐にともなってホテルが接収され、例会場を失って一時休止し、翌1946年1月9日、四条にある大丸百貨店7階の大食堂の一隅を借りて再開した。会長はひきつづき石川芳次郎である。例会会といっても食糧事情が困難を極め、手弁当を持参しての例会だったが、出席率はかなり良く62.55%を記録している。これは終戦直後の混乱の下ではかなり良い成績だった。

水曜会のメンバーはRIへの復帰を希望するが、日本は敗戦国であり、被占領の状態でもあったから、ことは容易には運ばず、とりあえずは各地のクラブと連絡を取り合いつつ、復帰の道を探っていく。この間、大阪や東京では復帰の希望をRIに伝えるが、時期尚早として退けられている。

ところで、日本のロータリーを設立した米山梅吉が、疎開先の静岡県沼津で1946年4月28日に、福島喜三度も同年9月17日に亡くなった。そしてロータリーの創立者であるポール・ハリスが、1947年1月27日にシカゴで歿している。79歳だった。

1946年1月、東京水曜クラブの小松隆会長が、GHQのバラード大佐に託したRI復帰に関する要望

書が、ラブジョイ事務総長を経てRI理事会に提出されたが、5月24日に、「日本の希望は充分理解するが、現在の時点では確答はできない。RIの記録として残しておく」という返事をもらっている。1947年1月に、大阪金曜クラブ飯島会長も、同様な要望書を元会員Mayを通じてRI本部に送った。

1947年3月18日に、東京の工業クラブで、RI復帰連絡協議機関設置のための懇談会が開かれ、7月16日に第1回復帰協議会が開かれて、日本全国から14クラブ32名の有志と、駐留軍のMossが東京工業倶楽部に集まって協議をしました。

1947年7月の記録によると、当時各曜会と名称を変えて例会を続けているクラブは18であり、その会員数は1,050となっている。ロータリーの名称こそ使えなかったものの、各曜会の例会には、駐留軍として在日していた連合国のロータリアンが再三訪れ、盛会であったと言われている。

1948年7月14日に、第2回復帰協議会が開催され、16クラブから40名が参加している。1948年9月1日、インドに駐在していたRI中央アジアの副事務総長ジョージ・ミーンズが、日本を訪れ、東京水曜会の例会に出席して、小松復帰協議会会長から、日本の実情を聞くと共に、大阪金曜会やその他の七曜会を訪れて、日本のロータリークラブが名前こそ変えながらも、脱退以前と変わることなく例会を続けている状況をRIに報告する。

1949年3月9日に、再び日本を訪れたミーンズは、RI理事会が同年6月の国際大会までに、日本のロータリーを復帰させることを決定したことを知らせた。この吉報を受けた協議会は、このことを各クラブに知らせると共に、その準備にかかり、東京水曜会は3月16日に解散して、3月23日にチャー

ターメンバー 157名で創立総会を開催し、3月29日にはRIから以前の登録番号855のままで認証を受けた。

京都ではこうした動きを受けて、いち早く3月16日に水曜会総会を開き、会の解散が提案されて満場一致で決定し、解散した。続けて京都ロータリークラブ設立準備委員会が組織され、新会員の選考に着手、公職追放該当者や出席率60%以下の会員、職業分類上で不適当な会員を除いて、元の水曜会会員93名から57名を選び、チャーターメンバーとした。

これに続いて大阪、名古屋、神戸、福岡、札幌の7クラブが順次RIに復帰し、第60地区として、戦後の日本のロータリー運動が再開されることになる。東京クラブのチャーター・ナイトは、同年4月27日に開催され、マッカーサー元帥（後に東京クラブ名誉会員）や吉田茂首相からの祝辞が披露された。

**RI復帰状況は次の通り。**

クラブ名	会員数	復帰承認	クラブ名	会員数	復帰承認
東京	189	49.3.29	四日市	20	49.11.21
京都	57	49.3.29	岐阜	20	49.12.8
大阪	68	49.4.13	門司	29	50.1.12
神戸	46	49.4.13	仙台	33	50.1.30
名古屋	47	49.4.13	浜松	20	50.2.6
福岡	33	49.4.22	高松	40	50.3.9
札幌	45	49.5.2	金沢	32	50.3.20
横浜	38	49.7.27	旭川	36	50.3.29
西宮	20	49.8.19	静岡	28	50.4.20
高知	24	49.8.19	長崎	30	50.6.9
今治	20	49.8.19	盛岡	21	50.7.25
徳島	30	49.8.23	釧路	25	50.10.2
広島	27	49.8.25	郡山	28	50.10.30
岡山	24	49.8.25	松山	30	50.12.3
小樽	25	49.9.16	室蘭	31	50.12.15
函館	25	49.9.16	帯広	19	50.12.28
熊本	27	49.10.24	和歌山	35	50.12.28
新潟	24	49.11.8			

公職追放者を会員として認めるか否かが、大きな問題点だったが、経済界における公職追放者を会員として認めないならば、クラブとしての体をなさないと言う、日本側の主張が受け入れられたため、日本のロータリーは戦前からの指導者を失うことなく再出発することができた。ただし、日満ロータリー連合会の設立に大きな活躍をした芝染太郎の名前は、東京クラブの会員名簿にはない。

RI脱退中も、ロータリー例会そのままの非公式例会を続けていたことが、大きな評価を受け、クラブ歴、個人歴共に、この期間を含めることが認められることになったが、RI復帰に際して、戦前の日本のロータリーの強引な手法を牽制する意味から、次の条件が付けられた。

- (1) 離脱中の七曜会の解散
- (2) RIの定款・細則の厳守
- (3) RIへの義務の完全履行

更に、「各クラブはそれぞれRIに直結しているので、クラブが地区や国単位で固まって行動を起こさない」ことを誓約して、戦後の日本のロータリーは歩み始めるのである。

**第60地区の発足**

1949年6月末までに、一挙に7つのクラブが復帰をはたしたが、5月にはRIから日本のクラブを、国際ロータリー第60地区とする通知が届き、7月の新年度から地区が正式に発足する。地区ガバナーには、クラブ復帰にも尽力した手島知健（東京RC）が就任した。

日本全国を範囲とする第60地区は、1949年の7月19～20日に、第1回地区協議会を東京で開催し、第1回地区大会を翌1950年4月に、京都で開催する決定を下した。京都は比較的戦災にさらされなかったこともあって選ばれたのだった。京都ではさっそく準備にとりかかり、大会委員長に鳥養利三郎と委員6名を指名した。

9月下旬には、RI会長であるパーシー・ホジソン夫妻が来日し、京都で彼を迎えて、西日本クラブアッセンブリーが開かれるなど、活動は急速に復活しはじめる。このときのクラブアッセンブリーでの、ホジソン会長によるロータリーの4綱領にかかわる精神と、その実践についての講話は、日本のロータリアンにとって、久しく聞かなかったロータリー精神を呼び覚ますものとなった。

このホジソン会長の訪日に合わせて、'48年に彼が主体となって作成した文献『奉仕こそ我がつとめ』が、東京RCからいち早く翻訳出版され、東日本クラブアッセンブリーで、日本語版がホジソン会長に贈呈されている。

この年の11月、京都RCでは職業奉仕の精神を実践しているとして、9名の事務員を模範的事務員として表彰するなど、戦前にまして活発な活動が開始されている。そして、ガバナーによるクラブへの公式訪問も行なわれ、何もかも急速にロータリーらしく動き始めたのだった。

復帰した7クラブ以外にも、復帰を待つクラブは多かった。戦争が終った直後、戦前に離脱し別組織で持続したクラブが29、そのうち会合を戦後まで続けていたのが17で、それらの中から、1949年中に復帰したのが20、新たに加盟したのが2となり、日本を地域とする第60地区は、1949年末で22のクラブを持つまでになった。

復帰と新加入は翌年も続き、1950年には15クラブが復帰、新たに13クラブが加入している。そして、この年の12月をもって日本のクラブの復帰は終了し、以後は新たに加えられることとなった。

1950年4月8日に、復帰第1回の地区大会が京都の同志社栄光館で開かれ、RI会長代理のアンガス・ミッチェルが派遣されてきた。出席者は会員と家族あわせて627名にのぼり、成功裡に幕を閉じた。

この第60地区は以後、急速に新規加入クラブ数が増え、1952年7月には2地区に（当地区は第61）、1955年には4地区に（当地区は第63）、1957年には5地区に（当地区は第365）と、次々に細かく枝別れして行き、1970年7月の段階で、当地区は福井県、滋賀県、奈良県、京都府という現在の地域割りに落ち着いたのだった（地区番号は第365、のち第265、第2650）。

## 会員増強と拡大

戦後、奉仕（サービス）への認識も高まり、新たなサービスクラブも各種誕生する気運があった。こうした中で、ロータリーは活動をより広げ深めるため、会員増強に力を入れ、クラブ設立と既設クラブ

の会員増強が奨励された。

そこで、復活したばかりの各クラブは早々に拡大にとりかかる。現2650地区で、最初に新規誕生したのが福井RCだった。これは京都と大阪の両クラブがスポンサーとなった（1950年12月）。それに続けて、大津RC（1951年1月、スポンサー・クラブは京都）、長浜（1951年3月、京都）、翌年には奈良（1952年5月、京都・大阪）と、まずは各府県の主要都市に誕生していった。

こうした新しい地域への進出によるクラブ新設と並行して、既設クラブのテリトリーを割譲して誕生するアディショナルクラブも誕生した。1954年3月に誕生した京都南RCがその最初である。これは京都市の南部を京都RCから割譲する形で誕生したもので、現2650地区としては9番目のRC、アディショナルクラブとしては日本で6番目だった。

京都では、続けて京都東RC（1956年6月）、京都北RC（'57年9月）、京都西RC（1958年2月）と続くが、京都だけでなく、福井RCからできた福井北RC（1958年）のように、戦後に新設されたクラブからも、地域割譲によるクラブが誕生した。

これは1970年代に入って大津、奈良にもひろがった。そして後に、京都東RCが京都山科RC（現京都東山RC）を誕生させたように（1968年4月）、割譲を受けた地域から再び割譲する例も現われた。

そして、アディショナルクラブのもう一つの作られ方が、地域を共有するクラブの誕生である。これは「二階建」とも呼ばれる設立の仕方、この方式で、当地区で最初に設立されたのが、ずっと後になるが京都洛中RCである（1980年5月）。この同一テリトリー内でのクラブ誕生には異論も出た。地域割譲をし、さらに同一地域内にクラブができることは、既設クラブの低下を招きかねないという問題だった。

しかし、会員数が増えて交流が希薄になる危険性と、職業分類において加入が困難な会員候補者の問題などが議論され、結局、規定にそって同一地域内に新設クラブが次々と誕生していったのである。

引用文献：国際ロータリー第2650地区 地区史  
田中毅PDG ロータリー歴史探訪

\*5月号月信「ロータリーの歴史」に誤りがございましたので、訂正させていただきます。P10の最終段落「ロータリーの組織が…～継続されていたのでしょう。」の文を重複して記載してしまいました。謹んでお詫び申し上げます。



# ロータリー情報

## 日本の常識は世界の非常識

日本中どここのロータリークラブを訪問しても、基本的にはすべて同じパターンで例会が行われています。まず開会点鐘をして、ロータリーソングを歌って、会長の時間、会務報告、食事、卓話と続き、最後は閉会点鐘。大体このようなパターンではないでしょうか。また、日本のほとんどの例会は昼食例会で、イギリスの劇作家バーナード・ショーではありませんが、「ロータリーはどこへ行く ― 昼飯を食べに行く」というのが典型的な日本のロータリースタイルのようです。

日本国内にいて、『まあロータリーとはこんなもの』、『これが当たり前』ということかもしれませんが、実は世界ではそうとも限りません。ロータリーは国際的で、世界は広いのです。特に2016年の規定審議会の結果、クラブ運営にかなりの柔軟性が与えられました。今後、日本でも「アッと驚くようなスタイルのクラブ」が登場することになるかも知れません。

本年度最後のロータリー情報は、「日本の常識は世界の非常識」ということで、日本例会スタイルは必ずしもグローバルスタンダードではないことをお示ししたいと思います。田中毅PDG主宰のロータリーの源流から一部を修正し、引用させて戴きます。

### 1. 第一例会には国歌を歌う。例会場には国旗を掲げる。

戦争中、ロータリーは発祥の地がアメリカであることから、ロータリーはアメリカのスパイではないかと嫌疑を掛けられたり、フリーメーソンの組織だという疑いをかけられました。その疑いを晴らすために、国に対して忠誠を誓うことを証明する意味で、例会で国歌を歌い、それがのちに習慣化したものです。当時は、毎例会に特高が来て、サーベルをちらつかせながら例会を監視したそうです。国旗も同様な理由で掲揚され、今日に至っております。アメリカ以外の外国では、殆どの国では、国旗を掲揚したり、国歌を斉唱するといった習慣はありません。アメリカは移民の集まりなので、アメリカ人であるという自覚を持たせるために、国旗掲揚と国歌斉唱が盛んです。

### 2. 例会ではロータリーソングを歌う

初期のシカゴロータリークラブは会員同士の親睦と物質的相互扶助が盛んに行われていましたが、1907年にポール・ハリスは対社会的奉仕と拡大に活動方針を転換しました。さらに1908年に入会したアーサー・F. シェルドンは奉仕の必要性を強調したために、シカゴロータリークラブは「親睦・互惠派」と「奉仕・拡大派」に分かれて、毎例会は激論の場と化しました。その刺々しい雰囲気や和らげるためにハリー・ラグルスが始めたのが、ソングを歌うという習慣です。

最初の頃は「Smiles」とか「My Hero」などの大衆的な歌が好んで歌われました。

日本では、例会や各種の会合が始まる前や閉会の直前に、儀礼的にロータリーソングが歌われますが、本来はそのような歌い方をするのではなく、どんなタイミングで、どんなソングを歌おうと一向に構わないわけです。

また、奉仕の理想などの昔ながらのロータリーソングを歌うクラブがほとんどですが、そのような規則はなく、何曲歌おうと、童謡でも歌謡曲でも構いません。ちなみに、2016年の国際協議会では毎朝3曲程度、よく皆知っているポピュラーソングを歌いました。また国際協議会の閉会セレモニーでの歌はビートルズの「Let it be」でした。

### 3. ロータリーの会合は、点鐘で始まり、点鐘で終わる

日本では、あらゆるロータリーの会合は開会点鐘で始まり、閉会点鐘で終わります。これは地区大会であろうと、クラブ例会であろうと、まったく同じで、点鐘で始まり、点鐘で終わるのが当然だと思われていますから、点鐘を鳴らすのを忘れようものならば、まさに罰金ものです。例会は、国やクラブによってかなり違いますが、点鐘を鳴らすのは珍しい部類にはいるのではないのでしょうか。ヨーロッパや東南アジアでは、何時始まって、何時終わるのか、さっぱり判らない例会も珍しくありません。

アメリカでは点鐘を鳴らすクラブもありますが、法廷やオークションで使う木の板を木槌でコンコンと鳴らす光景をよく見かけます。それも開会や閉会のときに儀礼的に鳴らすのではなく、スピーチを始める前などに注意を喚起するために使うことが多いようです。

### 4. 例会時間は1時間？

日本では、例会時間は1時間と決めているクラブが多く、どんなことがあろうとも、絶対に時間延長を認めないクラブもあります。卓話者に卓話時間を厳守するように事前にSAAが注意するクラブすらあるようです。

すべてのクラブは、クラブ細則に基づいて管理運営を行っていますが、従来の推奨ロータリークラブ細則には例会曜日や例会開始時刻は定められていましたが、例会時間や例会終了時刻に関する記載はありませんし、独自のクラブ細則を定めているクラブでも、それを定めているクラブにお目にかかったことはありません。

アメリカの大都市のクラブは1時間半の例会が大部分です。地方の小都市のクラブでは2時間以上の例会や時間が不定期の例会も珍しくありません。韓国や台湾は日本の影響を受けて、1時間の例会が主流ですが、その他のアジアの国やヨーロッパでは、何時終わるとも知れずに、延々と続く例会も珍しくありません。そんな長時間続く例会でも、途中で退席する会員の姿は殆どなく、例会日は一日どっぴりとロータリー漬けになるつもりで、例会に参加しているように見受けられました。従って、60%ルールということで、36分間経ったら我先に退席する日本のビジターや会員の姿は、外国人から見ると、さぞかし奇異に写るに違いありません。

### 5. 会費は食費を含めて支払う。

日本のほとんどのクラブ年会費には食費が含まれています。これらの費用は半期分を前払うことになっていて、仮に例会を欠席したとしても食費を返してくれるクラブはほとんどありませんが、不思議なことには、これに文句を言う会員はほとんどいないようです。従って、クラブの会計にとっては、ホームクラブの例会に欠席することと、ビジターの来訪は大いに歓迎ということになります。

外国では会費の中に食費は含まれておらず、食事代金はその都度キャッシュで支払うか、金券を購入するのが普通です。レストランやホテルで行う例会では、幾つかのメニューが用意されていて、自由に選ぶこともできますし、食事抜きで例会に参加することも可能です。ビジターフィーとして平気で4,000円、5,000円を徴収する日本の方が、世界から見ると特殊な国であることを認識する必要があります。

## 6. クラブにはクラブ事務局があり、事務局員がいる。

RIが発行しているOfficial Directory (RI会員名簿)には、世界中のロータリークラブの情報が記載されています。かつては冊子として発行されていましたが、今はインターネット上でダウンロードできます。その会員名簿を調べると、会員200～300人以上の大規模クラブと、日本、韓国、台湾以外の外国のロータリークラブには、「クラブ事務局」の欄が空白であることに気が付きます。これは決して記載漏れではなく、世界中のほとんどのクラブは「クラブ事務局」を持っていないことを意味しています。

米山梅吉氏がロータリーという組織を日本に輸入した際、すでに社会的に成功した実業家で構成されたアメリカの大クラブを手本にしたことと、東京ロータリークラブが財界の大御所を中心に組織されたことから、会員が自らクラブを運営するのではなく、事務処理をすべて事務局員にさせるという先例を作り、それを、その後設立された他のクラブが真似をし、さらに日本のクラブとして出発した韓国や台湾にもその先例が引き継がれたものと思われます。

大規模クラブは別にして、世界中のほとんどのクラブには、クラブ事務局はありませんし、事務職員もおりません。すべての事務処理は、幹事を中心にそれぞれのクラブ管理運営委員会および傘下の小委員会がこれを役割分担して行い、幹事の家がクラブ事務局を兼ねているのです。

## 7. ロータリアンの会合に出席するときには身なりを整える。

日本のロータリアンはお行儀がよく、ほとんどのロータリアンは背広にネクタイ姿で、ロータリーのエンブレムをつけて会合に参加します。会社のユニフォームを着たままで例会に出席しようものなら、ひんしゅくの眼差しを浴びせられることは必

至ですし、エンブレムでも付け忘れようものなら、罰金を免れることはできません。

定款・細則には、服装についての取り決めはどこにもなく、エンブレムについても使用する権利があると記載されているものの、それを付ける義務については何の規定もありません。外国の例会では、背広にネクタイ姿の会員は半数以下です。皆、好き勝手な服装で、夏などは半袖がごく当たり前の格好です。

## 8. 例会の卓話

日本では例会の開催時間を1時間と定める習慣が固定化してしまったために、1時間を越えるとまるで定款や細則に違反したかのような非難が集中するようです。その影響を受けて、どのクラブも、食事15分、クラブ議事15分、卓話30分と定めた、極めて硬直的な例会運営を強いられているようです。この時間の制約が、画一的で魅力のない例会が開催される大きな原因の一つになっているのではないのでしょうか。

外国では卓話時間の定めはありませんが、およその時間を告知してから話を始めるケースが多いようです。話の途中で退席する人はほとんどいませんが、その一方で、話の内容がつまらなかつたり、面白くなければ、容赦なくプーイングを浴びせることや、冗長な卓話は強制的に終了させることすらあります。従って、卓話者は事前に十分準備をしてから、卓話に臨んでいるようです。卓話が済むと、卓話の内容に関連した積極的に質疑応答が行われます。次々に質問攻めに会って、必死になって答える様は、卓話を聞くよりも面白く、卓話と質疑応答が一体となって、例会プログラムの中心になっていることを強く感じさせられました。

引用：ロータリーの源流田中毅PDG (2680地区)

\* 5月号月信「ロータリー情報」に誤りございましたので、訂正させていただきます。P12の表「B13b 新しいゾーン構成」の右段中央「2630地区」の地域を「(誤)三重」→「(正)三重・岐阜」と訂正させていただきます。謹んでお詫び申し上げます。

# 米山梅吉記念館便り

## シリーズ 10 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、大正6年(49歳)に目賀田種太郎委員長の政府特派財政経済委員に任命されました。一行はサンフランシスコ到着後、セントルイス、シカゴ、ニューヨーク、ワシントンなどで、朝野の要人と交流をかさねましたが、米山は一人「南方に旅行し日米綿花に関する今後の発展に就き取調べをなしたること」のためにダラスに向かい、大正7年の元旦を福島喜三次と共にしました。福島家のサイン帳には「はからずも御親切になり此地に新年を迎へ候を永く記念すべく候 大正7年1月元旦 米山梅吉」と記され、俳句3首を残しています。福島は当時ダラスRC会員でしたから、ロータリーの話もしたのではないかと推測されています。



帰国後大正天皇に拝謁、下賜された金杯

## 米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌  
本文268ページ/2,500円

### 米山梅吉の足音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

### 米山梅吉記念館のホームページが新しくなりました。

米山梅吉に関する年表や人物像などの記述を充実させました。2019年には記念館創立50周年を迎えますので、その記念事業の一環としてリニューアルしたものです。ぜひご覧ください。

# 地区通信

## ロータリー財団100周年記念シンポジウムと集い



ロータリー日本財団、国際ロータリー第2650地区主催による、「ロータリー財団100周年記念シンポジウムと集い」が、京都ロータリークラブのホストにより、京都ホテルオークラ（5月17日翠雲の間）にて開催されました。

アーチ・クラフが「世界でよいことをする」ためにと、後のロータリー財団となる基金設立を唱えたのは、1917年のことでした。最初の26ドル50セントの寄付以来、何百万もの人々の生活を変え、現在では世界有数の財団に成長した1世紀にわたるロータリー財団100周年を祝う催しです。



式典の冒頭、刀根荘兵衛ガバナーは、アーチ・クラフが財団の必要性を唱え、誰一人として手を貸す人もなく個人的なプロジェクトとして始まり、11年後にやっとロータリー財団が誕生した経緯などを紹介、現在では、財団奨学生プログラムにより多くの有能な学生が海外に学び、再び母国に戻り、それぞれの国のリーダーとして活躍していることや、わが国からも多くの財団奨学生が誕生しており、91年から10年間、国連難民高等弁務官として大活躍された緒方貞子博士もかつての国際親善奨学卒業生であったと紹介、そして私達会員に対し、財団寄附への一層の理解と支援をお願いし挨拶されました。



シンポジウム第1セッション基調講演では、RI元理事・ロータリー財団元トラスティを務められたロータリー日本財団理事長である、千玄室氏による「ロータリー財団100周年を迎えて」と題し、私達ロータリアンは、各自の職業を通じて基金を作り、人道支援やポリオプラスをはじめ、世界で困っている多くの問題に対し、支援の手を差しのべる大切さを訴えられました。そして私達ロータリアンが、手をたずさえ一丸となって支援する、「大きな鐘を打ち鳴らしましょう！」と力強く述べられました。

第2セッションでは、学友とのシンポジウムとして、千玄室氏がモデレーターを務められ、世界の第一線で活躍されている、かつて財団学友生であった3名のパネリストを招いてのシンポジウムが行われました。

榎原美紀様：NHK国際放送局ワールドニュース部編集長

財団学友（84-85）第2660地区 豊中RC 米国

中村 恵様：国連UNHCR協会ファンドレイジンググループ団体・学校統括

財団学友（83-84）第2790地区 松戸東 フランス

米川正子様：立教大学 特定課題研究員

財団学友（90-91）第2680地区 宝塚RC イギリス

第2部レセプションでは、ロータリー財団奨学生として、ミュンヘン音楽大学に留学、現在京都市立芸術大学准教授の日紫喜 恵美様、そして同じくロータリー財団奨学生とし渡独、ミュンヘン音楽大学マイスタークラスを修了され、現在同志社女子大学にて後進の指導にあたっておられる、岡部 佐恵子様のお二人による、素晴らしい歌声とピアノ演奏を楽しませて頂きました。

記事取材：（地区月信担当幹事 守金眞滋）



## 第2650地区 2017年3月 会員数の増減および出席率表

### 京都府 (42クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	3月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
綾部	26	0	0	26	28	1	2	4	94.23	1
福知山	59	0	1	58	59	3	4	5	93.36	0
福知山西南	44	0	1	43	40	4	1	4	90.76	1
亀岡	29	0	0	29	29	1	1	4	100.00	0
亀岡中央	13	0	0	13	11	2	0	4	79.43	1
京丹後	31	2	0	33	29	5	1	3	85.15	2
京都	204	3	8	199	191	23	15	5	98.83	0
京都伏見	92	0	1	91	94	5	7	5	89.34	9
京都平安	22	0	0	22	23	0	1	3	75.36	5
京都東	92	0	0	92	91	3	2	4	96.34	0
京都東山	75	0	2	73	73	6	6	4	88.04	4
京都北東	25	0	0	25	25	0	0	5	82.05	1
京都城陽	34	0	0	34	32	2	0	5	100.00	2
京都桂川	30	1	0	31	29	2	0	4	86.79	0
京都北	71	0	3	68	68	5	5	4	84.99	0
京都南	231	0	2	229	230	8	9	4	93.22	0
京都モーニング	44	0	0	44	40	4	0	4	97.05	5
京都紫野	54	0	0	54	56	4	6	3	100.00	0
京都中	40	0	0	40	38	3	1	3	100.00	0
京都西	106	0	2	104	103	3	2	3	99.31	0
京都西山	19	0	0	19	20	0	1	3	100.00	1
京都乙訓	39	0	0	39	41	0	2	4	76.80	1
京都洛中	94	0	0	94	91	5	2	4	100.00	0
京都洛北	71	0	0	71	71	3	3	4	98.88	0
京都洛南	32	0	0	32	32	1	1	4	93.55	2
京都洛西	51	0	0	51	49	4	2	4	92.15	6
京都洛東	43	1	0	44	43	1	0	5	88.54	0
京都嵯峨野	23	0	0	23	23	0	0	4	67.39	1
京都さくら	24	0	0	24	26	0	2	4	77.18	7
京都西北	42	0	0	42	42	1	1	5	77.89	2
京都西南	45	0	0	45	44	2	1	4	96.98	4
京都紫竹	37	0	0	37	37	0	0	5	93.01	2
京都朱雀	34	2	0	36	34	4	2	4	82.27	3
京都田辺	20	0	0	20	19	1	0	4	94.74	3
京都山城	25	0	0	25	26	2	3	4	82.25	0
京都八幡	31	0	1	30	31	0	1	4	87.18	4
舞鶴	27	0	0	27	28	0	1	4	97.91	0
舞鶴東	38	0	1	37	37	1	1	4	80.46	3
宮津	34	0	1	33	34	2	3	4	95.94	0
園部	23	0	0	23	23	0	0	4	97.22	0
宇治	40	1	0	41	39	2	0	4	98.70	1
宇治鳳凰	47	0	0	47	47	1	1	4	94.12	6
小計	2,161	10	23	2,148	2,126	114	90	4.0	90.65	77

### 奈良県 (14クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	3月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
あすか	56	0	0	56	56	1	1	5	94.24	0
五條	33	0	0	33	34	1	2	4	98.15	1
平城京	22	0	0	22	24	0	2	4	80.72	2
生駒	21	0	1	20	22	1	3	5	77.14	2
橿原	46	0	0	46	46	0	0	5	87.80	1
奈良	128	0	2	126	125	4	3	4	92.81	4
奈良東	35	0	0	35	38	0	3	4	100.00	0
奈良西	42	0	0	42	43	2	3	4	84.75	2
奈良大宮	67	0	1	66	68	1	3	4	95.35	0
桜井	18	1	0	19	15	5	1	4	87.50	4
大和郡山	52	0	0	52	52	0	0	3	86.90	2
やまとまほろば	32	0	0	32	32	2	2	5	85.95	3
やまと西和	25	0	0	25	24	1	0	3	92.13	2
大和高田	98	0	2	96	95	3	2	4	97.55	4
小計	675	1	6	670	674	21	25	4.1	90.07	27

### 福井県 (19クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	3月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
福井	134	1	4	131	125	13	7	5	81.80	11
福井あじさい	64	0	0	64	64	3	2	4	78.04	5
福井フェニックス	57	3	0	60	56	6	2	4	76.67	10
福井東	50	0	1	49	46	4	1	3	82.00	9
福井北	106	0	2	104	105	6	6	4	68.16	10
福井南	35	0	0	35	35	2	2	3	81.79	1
福井西	36	1	0	37	32	5	0	4	85.88	3
福井水仙	22	0	0	22	22	0	0	4	75.00	2
勝山	28	0	0	28	28	1	1	4	82.57	3
丸岡	37	0	0	37	34	5	2	3	83.58	0
三国	35	0	0	35	32	3	0	5	87.50	4
大野	41	0	0	41	40	1	0	4	71.88	2
鯖江	35	0	0	35	32	3	0	4	73.92	3
鯖江北	13	0	0	13	13	0	0	4	82.69	0
武生	60	0	0	60	57	5	2	3	73.57	3
武生府中	30	0	0	30	30	0	0	4	96.15	0
敦賀	33	0	1	32	33	2	3	4	78.40	0
敦賀西	19	0	1	18	17	3	2	3	73.68	1
若狹	27	0	0	27	26	3	2	3	100.00	1
小計	862	5	9	858	827	65	32	3.8	80.70	68

### 滋賀県 (21クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	3月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
びわ湖八幡	45	0	0	45	42	4	1	4	93.23	1
五個荘能登川	23	0	0	23	21	2	0	3	79.89	0
東近江	34	0	0	34	30	5	1	4	81.66	0
彦根	62	0	0	62	62	2	2	4	90.78	5
彦根南	65	4	0	69	63	8	2	4	89.32	0
湖南	39	0	0	39	40	0	1	3	92.67	3
草津	29	0	0	29	30	0	1	4	90.23	0
水口	36	0	0	36	37	1	2	3	95.23	0
守山	40	0	0	40	39	2	1	4	96.05	1
長浜	62	0	0	62	59	5	2	3	92.08	3
長浜東	59	3	0	62	58	6	1	4	95.85	0
長浜北	25	0	0	25	26	1	2	4	90.63	4
近江八幡	43	1	0	44	44	2	2	4	100.00	1
大津	118	0	5	113	109	12	8	4	100.00	5
大津中央	30	0	0	30	29	1	0	5	82.48	4
大津東	25	0	0	25	22	4	1	3	84.72	4
大津西	21	0	0	21	20	1	0	4	96.12	0
栗東	44	0	0	44	43	1	0	3	92.25	2
高島	44	0	0	44	44	0	0	4	100.00	2
野洲	40	0	0	40	40	1	1	3	92.04	2
八日市南	46	0	1	45	48	0	3	3	89.00	2
小計	930	8	6	932	906	58	31	3.7	91.63	39

### Eクラブ (1クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	3月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
日本ロータリー Eクラブ2650	48	0	1	47	50	1	4	3	100.00	4
小計	48	0	1	47	50	1	4	3	100.00	4

### 合計 (97クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	3月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
合計	4,676	24	45	4,655	4,583	259	182	3.7	88.93	215

■表作成にあたって  
 ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。  
 ・入退会者数、3月会員数および入退会者累計数は3月末現在です。  
 ・「期首会員数」は、平成28年7月1日入会の会員数を含みます。

国際ロータリー第2650地区 2016-17年度 3月 会員の動き

3月入会者一覧

クラブ名	氏名	職業分類
福井西	久野 真	不動産賃貸業
福井フェニックス	久保田百代	家電卸売業
福井フェニックス	荒川 逸雄	外壁・基礎工事業
福井フェニックス	堀江 敏弘	建築業
福井	酒井 孝	建設業
近江八幡	廣内 和也	労務斡旋
長浜東	山田 剛	旅行業
長浜東	松村 洋明	人材派遣業
長浜東	松波 和幸	燃料販売
彦根南	諸川 孝之	建築デザイナー
彦根南	小倉 稜之	冠婚業
彦根南	青池 貴司	建築業
彦根南	田川 正人	制御ソフト設計
京都	植木 修康	中央銀行
京都	大井清之助	蒸留酒製造販売
京都	竹中 洋	医学教育
京丹後	中西 昌弘	自動車整備
京丹後	伊藤 真人	コンサルタント
京都洛東	大村 裕視	建築内装工事
宇治	岡田 正幸	木造住宅建築販売
京都朱雀	大門 和彦	保険
京都朱雀	幅南 進	土木建築業
京都桂川	井上 正佳	広告業
桜井	坪本 史朗	貨物自動車輸送

3月退会者一覧

クラブ名	氏名
福井	山口 雄司
福井	高山 知士
福井	西田 彰一
福井	北山 克明
福井東	米由 誠
福井北	佐藤 貴嗣
福井北	名倉 功
敦賀	原野 美枝
敦賀西	滝 真一郎
大津	向井 康
大津	永瀬 裕史
大津	村越 秀明
大津	大西 茂輝
大津	平 和也
八日市南	上野 照雄
福知山	麓 泰紀
京都	城川 博孝
京都	國元 卓
京都	貴志 宏史
京都	下別府俊也
京都	橋詰 秀彦
京都	金子 裕之
京都	川端 正樹
京都	浜田 英敏
京都南	横山 良範

クラブ名	氏名
京都南	赤木 健一
京都北	森本 謙
京都北	大橋 正彦
京都北	田中 秀之
京都西	関 能信
京都東山	山中 鏡一
京都東山	牧野 誠司
京都八幡	辻 富治
宮津	太田 順一
舞鶴東	品川 明美
奈良	小嶋 正士
生駒	木下 宗寛
奈良大宮	荒木 政信
大和高田	中登 成光
大和高田	田原 久義
日本ロータリーEクラブ2650	間川 明子

ご逝去会員一覧

クラブ名	氏名
福知山西南	横山 尚理
京都西	野中 健二
京都伏見	三木 善則
奈良	増田 孝雄
大和高田	安本 茂 ※名誉会員

文庫通信 (356号) <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

- ◎「ロータリーと茶の心」千 玄室 2017 4p (D.2690地区大会記念誌)
- ◎「日本ロータリーの昔話4～7」深川純一 伊丹R.C. 2016 4p (純ちゃんのコーナー PartXV)
- ◎「日本のロータリアンの使命」塚原房樹 2016 2p (D.2510月信)
- ◎「ロータリー会員から真のロータリアンへの進化」三木 明 2016 1p (D.2680月信)
- ◎「ロータリアンにとって『職業奉仕』とは」藤林豊明 2016 2p (D.2580地区大会記念誌)
- ◎「ロータリーの魅力とは何だろう」富田英壽 2017 2p (D.2700月信)
- ◎「RIの向かっている道(三つの側面を通して)」桑月 心 2017 2p (D.2630月信)
- ◎「今までの100年・そして現在」久世晴雅 2016 4p (D.2680地区大会記録誌)
- ◎「会員を引き込む」RLI日本支部 2015 3p (RLI参加者テキスト)
- ◎「ロータリー財団を正しく理解する」鈴木一作 2016 5p

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

Rotary  
District 2650



Kyoto  
Nara  
Shiga  
Fukui

国際ロータリー第2650地区

2016-17年度ガバナー 刀根 莊兵衛

ガバナー事務所●  
 〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町614番地 新京都センタービル5階520号室  
 TEL: 075-353-2650 FAX: 075-343-2651 E-mail: gov2016-17@rid2650.gr.jp